



宮城県
小牛田農林高等学校
保健厚生部
令和2年5月25日

学校では、6月1日からの学校再開に向けて、準備を進めているところです。感染リスクを可能な限り抑えるために、本校では次のような感染予防対策に努めていきます。ご家庭で、お子様と一緒に読んでいただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

1 起床時・登校前

①保護者の責任のもと、家庭で体温や健康状態を確認し「健康観察カード」に記入する。

いつも通りで問題なし

→

登校

体温が平熱よりも高い

熱の有無に関係なく風邪症状がある

体調に変化がみられる

→

自宅療養：出席停止扱い

感染の不安や心配のため登校できない

→

自宅療養・自宅学習：公認欠席扱い

*学校を休む場合は、保護者の方が、電話でその状況をお知らせください。その際、具体的な症状（発熱の有無、頭痛、腹痛、下痢、鼻水、のど痛、咳、吐き気、だるい、登校不安等）をお話しいただけるとスムーズです。

*発熱の場合、解熱後3日を経過するまでは自宅療養をしてください。

*不安や心配のため登校が難しい場合は、学級担任にご相談ください。

*ご家族の中に、体調不良の方がいる場合は、登校を慎重に判断してください。

②「健康観察カード」は登校の際に持参する。



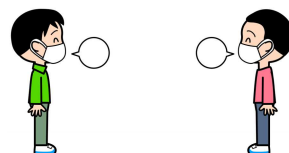
2 登校時の対応

①マスクをつけて登校するとともに、咳エチケットを励行する。

*マスクが不足するときは、登校日に配付したマスクを活用してください。

②登校の際は、人との間隔を十分にとり、密集しないように気をつける。

周囲の人と距離が近い時は、会話を控える。



③登校したら、昇降口で教員から検温の有無の確認を受ける。都合により未検温の場合は、昇降口の検温所で、検温及び健康観察を行う。

④『ウイルスを持ち込まない、拡げない』ために、教室に入室する前に、手指消毒薬による消毒、または石けんを使った手洗いを行う。なお、ハンカチは毎日持参し、友達との共有はしないこと。

⑤朝のHRで学級担任に「健康観察カード」を提出する。



3 体調不良者への対応について

①体調不良者は、保健室に入室する前に廊下で検温を行う。

発熱がみられ、体調不良を訴える場合

→

下校：出席停止扱い

発熱はみられないが、体調不良を訴える場合

→

下校：出席停止扱い

*体温には個人差があるので、「健康観察カード」に書いてある平熱等をもとに対応します。

*感染拡大防止の点から、発熱の有無だけで判断するのではなく、体調不良者にはなるべく自宅療養を勧め、無理をさせない対応をとらせていただきます。

②登校後、体調不良のために下校させる場合は、学級担任等から保護者に連絡をする。

③発熱がみられ下校させる場合は、原則保護者の迎えとする。

*感染拡大防止のため、公共交通機関は利用できません。仕事等で都合がつかない場合もありますが、ご家族の協力をいただければと考えております。

*朝から体調が悪い日は、無理に登校しないでください。迎えが難しい日は、予め自宅で療養し、様子をみることをお勧めします。

4 学校での生活について

①マスクの着用が支障となる特別な学習活動を除き、生徒・教員ともにマスクの着用を基本とする。

②可能な限り常時換気を行う。授業中も常に対角線上の窓・ドアを開けておく。休み時間は、他の窓やドアも開けて空気の入れ換えを行う。

③外から教室に入る時やトイレの後、食事の前などは、手指消毒薬による消毒、または石けんを使った手洗いをを行う。『むやみに周囲のものに触らない。触ったら、手洗いするまで眼・鼻・口に触らない！』を徹底する。

④トイレや水飲み場は、密集にならないように、一定の距離をとるよう気をつける。

⑤食事の際は、机を向かい合わせにはせず、座席の間隔をできるだけ開ける。飛沫させないよう気をつけ、会話をしないようにする。『飲み物の回しのみ、食べ物の共有をしない。』

⑥教室空間の有効活用と、ゴミ箱からのウイルス拡散防止のため、ゴミ箱は撤去する。

そのため、『個人で出したゴミは持ち帰り』とする。

*ゴミを持ち帰るための袋等は、各自で準備してください。

⑦掃除を行う際は、換気の良い状況でマスクを着用して行う。掃除終了後は石けんを使って確実に手洗いをする。

～教員が行う環境整備～

①授業では、教員との距離を確保するため、教卓前の2席分は生徒用机を配置しない。また、教室内で席を離せる人数の場合には（選択授業等）、可能な限り、座席の配置を離す工夫をする。

②多くの生徒が手を触れる場所（教室の机・ドアノブ・手すり・スイッチ等）は、教員が1日1回以上消毒液（次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して消毒する。



5 下校について

①『ウイルスを持ち込まない、拡げない』ために、学校を出る前に、昇降口で手指消毒薬による消毒、または石けんを使った手洗いをを行う。

②下校時は、登校時と同様、密集とならないように注意する。

③下校後は、外出を控える。人との接触をなるべく減らす努力をする。

④免疫力を高めるために、十分な睡眠、バランスのとれた食事を摂るよう心掛ける。



6 新型コロナウイルス感染症に感染した場合の連絡について

感染の判明や濃厚接触者と特定された場合は、速やかに学校へ連絡をお願いします。その際、発症日、現在の症状と経過、医師から受けた指示等可能な範囲でお伝えください。

【出席停止の期間について】

感染が判明した場合	濃厚接触者と特定された場合	基礎疾患等がある場合	風邪や発熱症状がある場合
治癒するまで	14日間	主治医等に指示された期間	風邪や発熱症状が治癒するまで